

対象年度		令和 6年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート												
事務事業名		小学校 I C T 整備推進事業						予算事業名		校内通信ネットワーク整備事業費						
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令							
				10	02	03	2003	経常経費								
総合計画体系		未来を担う子どもと 生き生きとした市民を育む地域を目指そう						事業の区分		主要事業						
		地域への愛着と誇り、「生きる力」を育む教育環境づくり								重点事業						
		学校教育の実践						担当課係等		学校教育課						
										施設係						
事業期間		継続 (令和 4年度～ 年度)														
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】									
・ネットワークを活用した学習を行うことで、従来の学校教育では実現できなかった広がりを持った教育を実現する。また、教職員への支援としてGIGAスクール運営支援センター及びICT支援員を配置することにより、整備された機器を最大限に活用した授業を展開する。							文部科学省主導による「教育のICT化に向けた環境整備5ヶ年計画 (2018～2022)」の実現。									
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】									
・ICT支援員配置委託 (R3～) 9校 授業計画の作成支援、ICT機器の操作、保守支援、研修支援等 ・GIGAスクール運営支援センター委託 (R4～) 9校 R7年度にて補助金終了予定 端末等の使用マニュアル・ルールの作成及び改訂、職員研修の実施、アカウント管理等 ・教職員パソコン貸借 ・学習用ソフト トモリンクス更新(毎年更新) ・タブレット端末更新実施設計委託 ・新規タブレット端末及び付属機器購入 (R8より新規ICT機器使用開始) ・無線LAN整備 R8 特別教室LAN整備 (城南小、結城西小、城西小)							児童及び教職員									
							【事業をとりまく環境の変化】									
							1人1台端末を整備したことによる、教職員のスキルアップ及び授業支援、機器のメンテナンス等の支援員の配置。									
【令和 6年度 事業内容】				【令和 7年度 事業内容】				【令和 8年度 事業内容】								
・ICT支援員配置委託 ・GIGAスクール運営支援センター委託 ・教職員パソコン貸借 ・校務支援システム貸借 ・学習用ソフト更新(毎年更新) ・貸借満了校務用パソコン処分				・ICT支援員配置委託 ・GIGAスクール運営支援センター委託 ・教職員パソコン貸借 ・校務支援システム貸借 ・フィルタリングソフト更新(1年間のみ) ・タブレット端末等更新実施設計委託及びリース整備				・ICT支援員配置委託 ・GIGAスクール運営支援センター委託 ・教職員パソコン、校務支援システム貸借 ・不要ICT機器処分 ・特別教室LAN整備 (城南小、結城西小、城西小) ・タブレット端末等貸借								
■事業費																
				R04年度		R05年度										
財源内訳	国庫支出金			1,985		2,363										
	県支出金			0		0										
	地方債			12,600		0										
	その他			0		0										
	一般財源			70,097		66,650										
歳入計 (千円)				84,682		69,013										
歳出内訳	節 (番号 + 名称)				金額 (千円)		金額 (千円)									
	10	需用費			1,487		1,839									
	11	役務費			856		856									
	12	委託料			25,291		25,871									
	13	使用料及び賃借料			40,152		40,447									
	14	工事請負費			16,896		0									
歳出計 (千円) (A)				84,682		69,013										
伸び率 (%)						-18.50										
備考	令和7年度の学習用タブレット端末更新については、補助金を活用したリース契約とし令和8年度より賃借料を計上している。また、充電保管庫等の付属機器については示されていないが、同様にリースでの整備を検討している。															

令和 4年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R04年度	R05年度	R06年度
活動 指標	タブレット整備校数	校	目標	9.00	9.00	9.00
	タブレットを活用した授業展開		実績	9.00	0.00	0.00
	校内無線LAN整備	校	目標	1.00	0.00	0.00
	インターネット環境整備の実施		実績	1.00	0.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	学習能力の向上及び教育環境整備のため必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	セキュリティ対策、情報の保守管理により行政以外には実施できない。
	手段の妥当性	A 妥当である	G I G Aスクール構想に準じた展開を実施。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらも言えない	担当者はI C T専門の知識が必要であり、市行革・デジタル推進課及び指導課、学校との連携が必要である。
公平性	受益者の偏り	B どちらも言えない	計画に基づき実施している事業ではあるが、規格や性能、運用方法に偏りがあると思われる。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	G I G Aスクール運営支援センター及びI C T支援員による機器トラブル解消、アプリ類の使用方法的指導等により授業でのタブレット活用が向上した。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	学校や学年単位での格差はあると思われるが、タブレット学習が浸透してきており、全体的なスキルアップが見受けられる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
タブレットを使用したI C T学習が進むにつれ、機器の低スペックに伴う動作不良等の支障が発生している。また、学校からの新規機器及びアプリ導入等の要望が増えてきていることから、令和8年度からの新規機器での運用開始までの対応が課題となる。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
さらなるスキルアップ向上にむけ、教える立場である教職員向け研修の実施や他校のI C T学習状況など情報共有を図るなど、学校単位ではなく、結城市全体として取り組むようにする。また、機器の低スペックに伴う動作不良等については高スペック機器への変更以外は、確実な改善はないと判断しているため、I C T支援員と連携し都度、対応とする。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 G I G Aスクール構想実現のためのハード部分については概ね整備が完了したので、今後はソフト部分の利活用を図る。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり	